

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

春日井市立中央台小学校(愛知県)【指定校】

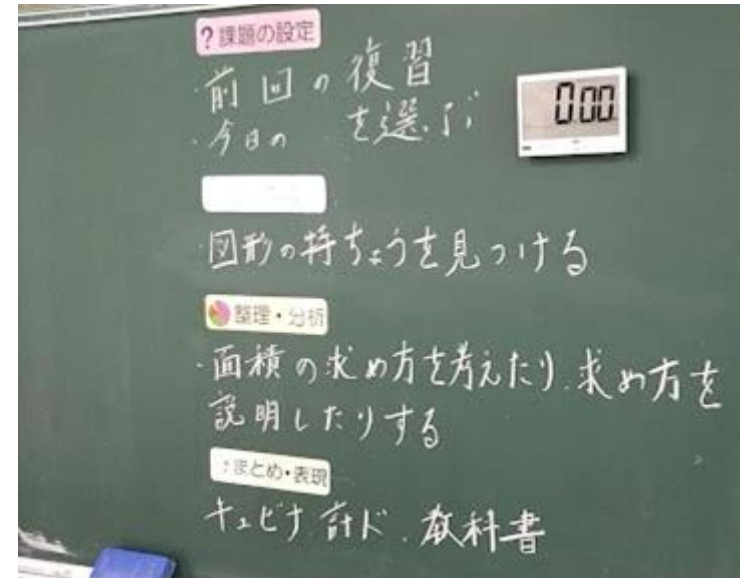
【取組内容】 ①『『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実』 学習サイクルの定着

【実践内容】

- ・自立した学習者を育てるため、自ら学ぶ力をつけるよう学習サイクルを取り入れた授業を校内研修で提案。
- ・めあてや学習方法を複数提示し、自己決定の場面を意図的に多く設定した。
- ・黒板やGoogleクラスルームを使用して、児童に明示した。

【実践の振り返り】

- ・課題設定からまとめ表現まで、一連のプロセスを経験することで、児童は自ら学びをコントロールしようとするようになった。
- ・児童は学習の過程を何度も見直すことができるので、安心して学習に取り組むことができた。
- ・学習サイクルを取り入れることで、授業が単なる知識伝達ではなく、児童が主体的に学び、成長する場となった。



10/16 授業の手引

課題の設定：日本で盛んな工業の種類や工業地域の分布に着目して、日本の工業生産の特徴を見つけて、説明しよう。

情報の収集：教科書P6,7や資料集P60, 61の写真やグラフから工業の種類や工業のさまざまな地域の分布に注目して、気づいたことをフィグジャム上の付箋を使って書く。

整理・分析：情報収集で集めたフィグジャム上の付箋から日本の盛んな工業の種類や地域の特徴を見つけ、なぜそのような特徴があるのか理由を考え、付箋でつなげる。

まとめ・表現：整理分析したフィグジャムをスライド上に貼り、日本の工業生産の特徴について理解したことをスライドにまとめる。

ふりかえり：自分の学習方法はどうか、今日の学習でわかったことはなにか、次に取り組みたいことはなにかについてスプレッドシートに書く。